

日文研叢書第60集

世界文学としての方丈記

プラダン・ゴウランガ・チャラン著

▼四六判・上製カバー・三六〇頁・定価三、八五〇円

夏目漱石や南方熊楠の英訳により、『方丈記』が〈日本三大随筆〉から、世界文学の最高傑作として受容された過程を追った、初の研究。

2022年3月刊行



【目次】

まえがき

序章 世界文学としての『方丈記』

——古典文学の新たな可能性に向けて

第1節 研究の背景／第2節 先行研究と問題の所在／第3節 研究の範囲と実施方法／第4節 本書の構成

第1部 日本国内における『方丈記』の受容

第1章 成立から明治初期までの『方丈記』受容の概要

はじめに／第1節 鴨長明の生涯と『方丈記』の成立／第2節 成立から近世までの『方丈記』の受容／第3節 近世における『方丈記』の受容／終わりに

第2部 自然文学作品としての『方丈記』

——夏目漱石の『英訳方丈記』を中心に

第2章 開国後に欧文で見る『方丈記』

——ジェームズ・メイソンの『方丈記』を中心に

はじめに／第1節 デイクソンに関する先行研究／第2節 デイクソンの略歴／第3節 日本の高等教育への貢献／第4節 デイクソンと『方丈記』の出会い／終わりに

第3章 夏目漱石と『方丈記』の最初の外国語訳への挑戦——詩人化された鴨長明

はじめに／第1節 先行研究／第2節 夏目漱石と『方丈記』の関係／第3節 『英訳方丈記』から見る漱石の『方丈記』理解／第4節 漱石の翻訳思想／終わりに

第4章 漱石とデイクソンの『方丈記』英訳の比較検討

——在日西洋人が見た鴨長明

はじめに／第1節 漱石のエッセイとデイクソンの論文の関連性／第2節 漱石とデイクソンの英訳の関連性／第3節 デイクソンの鴨長明像／第4節 在日西洋人が捉えた鴨長明像／終わりに

第3部 19世紀末・20世紀初頭の英語圏における『方丈記』の流通と受容の諸相

第5章 日本からアメリカへ

——Sunrise Storiesに見る『方丈記』

はじめに／第1節 Sunrise Storiesの著者と執筆背景／第2節 本書に見る鴨長明像／終わりに

第6章 アメリカからイギリスへ

——南方熊楠・デイキンズの『方丈記』共訳とその受容

はじめに／第1節 南方熊楠の『方丈記』英訳／第2節 東洋学者デイヴィスの日本への関心／終わりに

第7章 英詩人バジル・バンティングの見た『方丈記』

——Chomel at Toyamaを中心に

はじめに／第1節 バジル・バンティングとモダニズム運動／第2節 Chomel at Toyama／第3節 モタニズム英詩コンプレックスのChomel at Toyama／終わりに

終章 夏目漱石と文学作品の歴史性

——まともに／今後の展望

あとがき／参考文献

◆著者略歴

1978年インド生まれ。2013年インド・デリー大学東アジア研究科修士課程修了。2019年総合研究大学院大学国際日本文化研究専攻修士課程修了。博士(学術)。専門は日本文学・日本文学。日本古典文学の国際的な展開と流通をはじめ、翻訳論や世界文学論に関する研究。主な論文に「投企された『英訳方丈記』——夏目漱石の「作家論」から「天才論」(荒木浩編『古典の未来学——Projecting Classics』(文学通信 2020年)など。

注文書		様冊	
(書店印)		ご担当	
法藏館		定価三、八五〇円	
プラダン・ゴウランガ・チャラン著		世界文学としての『方丈記』	
日文研叢書第60集		ISBN: 978-4-8318-7756-7 C1095	
住所		お名前	
お電話		お名前	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

日本文学